

# 幕別町における今後の環境行政について



幕別町第5期総合計画の環境にやさしいまちづくりの基本方針として「地球環境を保全するために、住民、事業者、行政が連携のもと地球的視野に立った具体的行動に移すことができるように働きかける」とある。

本年4月に北海道は「北海道環境宣言」を発信し具体的な環境行動の手引を出した。

幕別町における環境問題についての取り組みを尚一層推進するために次の点について質問する。

①「幕別町環境宣言」を発信し住民、事業者、行政の具体的な環境行動を理念や考え方を明確にして推進すべきだと考えるがどうか。  
②行政における今後の具体的な取り組みについて次の点について伺う。  
(ア)公共施設の総合的なエコ対策についてと地域版環境認証への取り組みについて

て。

(イ)協働のまちづくり支援事業における環境美化事業の充実について。

(ウ)環境家計簿の子供用を含めた普及。

(エ)「産官学」における環境産業の立ち上げや企業誘致について。

(オ)入札参加事業者に対する環境対策の推進。

(カ)環境教育の推進とこともエコクラブの育成について。

③環境行政の総合的かつ基本的事項を調査審議するために、幕別町環境審議会を設置すべきだと考えるがどうか。

町長

①本年3月に、「幕別町エネルギー対策推進委員会」を設置し、町全体での地球温暖化対策について議論し、PR活動や実践活動に取り組み、「環境宣言」については、今後の議論の中で深めていきたい。

たい。

②(ア)各公共施設では、使用する電気や燃料の低減につながる設備の更新、利用面における節約等に努めており、施設ごとに各種データの的確な分析を行い省エネに取り組みたい。

地域版環境認証については、認証取得及び管理等費用が低廉であり、中小企業者向けの導入に適していると言われ、環境への取り組みを促す効果が期待でき、企業にとってもイメージアップにつながるなど、今後、先進事例等を参考に研究し、町内の企業に周知していきたい。

(イ)支援事業のメニューは、公区長会議や協働のまちづくり検討委員会等の意見により、順次、事業内容の充実を図っている。

今後も広く意見・提言をいただき、先進地等の事例の調査、研究に努め、積極的にメニューの充実を図りたい。

(ウ)町では、平成18年度から、二酸化炭素排出量の削減がどれくらいできたかが理解できる環境家計簿の普及

及に取り組んできた。子ども用環境家計簿についても今後、研究したい。

(エ)産官の連携は、十勝産業振興センターで、環境やエネルギーに関する実験研究や技術指導、起業相談等に取り組んでおり、新たな環境関連産業の創設に期待している。

本町の環境に関する産業の誘致は、既に工業団地内に、古紙や金属のリサイクルに関連する企業が数社進出しており、現在もリサイクル関連企業と具体的な交渉を進めている。

環境産業は、将来性の見込める分野であると認識し、今後の企業誘致を進める上で十分意を用いたい。

(オ)北海道では建設業法による経営事項審査制度で、環境マネジメントシステムの活用を図っており、町内事業所でも、環境に対する一定程度の認識は反映されていると考える。

教育長

(カ)環境教育は各学校で、体験や遊びを通じて関心を高め、さまざまな活動に取り組んでいる。エコクラブの育成について

では、現在、登録している団体はないが、同様の活動をしているふるさと館ジュニアスクールが、こどもエコクラブ事業として実施することが可能か検討したい。

町長

③本町では現在、環境問題に係る審議会として、公害対策審議会や廃棄物減量等推進審議会、幕別町エネルギー対策推進委員会を設置し、環境問題全般に関し提言をいただいている。審議会の機能強化、名称変更など他の事例等を調査し対応したい。

